

こんにちは婦人会「さくら」です

紫陽花が庭先を彩る今日この頃となりました。蒸し暑い日があったり、肌寒くなったりと梅雨の時期は気温が変わりやすいです。お風邪など召しませぬようご自愛ください。先日、知人から届いたメールに「蛍の里に行ってきた。美しく幻想的な風景でしたよ」とありました。

思えば、雨つゆを滴らせ咲く紫陽花、この時期になると聞こえる蛙の鳴き声、蛍の光の舞など、梅雨には梅雨の風情があるのですね。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日、ふとしたことからツレとじゃが芋の花の話で盛り上がりました。編集人の幼い頃の記憶はうす紫の花、ツレの記憶は白い花でうす紫は無かったとのこと。



インターネットで検索しましたら、じゃが芋は、品種によって咲く花の色が違うのです。じゃが芋は、世界でも2000種類の品種が存在するそうです。様々な品種同士を交配させて、どんどん種類も増えているそうです。白とうす紫だけではなかったのですね。



ローハエスペランサ



アスタルテ



エスペランサビオレータ

ところでこの花、多くの人を巻き込む魅力を持っているようです。

「馬鈴薯の薄紫の花に降る雨を思へり都の雨に」石川啄木の短歌です。

また、マリーアントワネットは舞踏会などで

じゃが芋の花を髪飾りに選んだそうです。

婦人会「さくら」
平成27年6月22日
第161号